

北海道

氏名 山崎 稔英 (やまざき としひで)

(満 37 歳 昭和 54 年 11 月 8 日生)

1 推薦の理由

北海道学校体育研究連盟には平成 22 年から所属し事務局研究部員として連盟事業の運営に関わってきた。第 51 回全国学校体育研究大会札幌大会では、授業者として「フラッグフットボール」の授業を公開し、体育授業の構築について研鑽を深めた。さらに、全道研究担当者研修会では、2 度の授業公開により、全道各支部を対象に提案性のある授業を行った。その他にも、札幌市の体育科教育の推進に積極的にに関わり、貢献してきたことが推薦の理由である。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

(1) 体育授業における実践

平成 24 年に第 51 回全国学校体育研究大会札幌大会で公開した「フラッグフットボール」の授業では、ボール操作が苦手な子どもも楽しめる易しいゲームを設定し、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きを高めることを目指した。

授業の始まりに学習カードに書かれた振り返りを紹介し、児童が何を学習するかを明確にすることができた。さらに、学習課題「仲間の特徴を生かした作戦を成功させよう。」を解決できるように教師が各チームの特徴と課題を的確に把握し、積極的に関わることで、着実に技能を高めることができた。授業後半に行われたゲームでは、今まで一度もタッチダウンすることができなかった児童が、仲間のサポートのおかげでタッチダウンすることができ、笑顔や拍手、歓声がみられた。

(2) 成果の汎用性

全国学校体育研究大会で行われた「フラッグフットボール」を基に作られた授業が、平成 28 年に行われた第 53 回北海道学校体育研究大会札幌大会で公開された。チームごとに核となる動きを盛り込んだタスクゲームを行うことで、課題解決を図る授業構成の仕方が生かされた。また、同大会で公開された「体力を高める運動」の授業においても、児童の実態を的確に押さえ効果的に教師がグループに関わる方法が生かされ成果がみられた。

平成 28 年に行われた札幌市小学校教育課程研究協議会では、全国学校体育研究大会で行われた

「フラッグフットボール」の授業を基にして、課題探究的な学習を取り入れた授業の充実について講義を行い、参加者の体育授業構築についての理解を深めることにつながった。

(3) 成果を証明する資料

- ・第 51 回全国学校体育研究大会「フラッグフットボール」指導案・動画
- ・平成 27 年全道研究者担当研修会「バスケットボール」指導案

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成 22・27 年には、全道研究者担当研修会で「ポートボール」「バスケットボール」の授業を全道各支部の研究担当者に公開した。

平成 23 年には、宮の森小学校実践研究発表会で「バスケットボール」の授業を公開した。

平成 23・25 年には、札幌市教育委員会小学校体育科教育基礎の講師を務め、初任者を対象に「マット運動」「跳び箱運動」の授業を公開し、小学校体育科教育の基礎について講義を行った。

平成 23～25 年には、札幌市教育委員会子ども体力向上に係る実践研究会の研究推進校委員として資料作成に関わった。

平成 24 年には、第 51 回全国学校体育研究大会で「フラッグフットボール」の授業を公開した。

平成 27 年には、札幌市教育委員会小学校体育教育Ⅱの講師を務め、10 年経験者を中心に「ザースボール」の授業を公開し、体育授業の構築の仕方について講義を行った。

平成 28 年には、札幌市小学校教育課程研究協議会の体育部会の講師を務め、体育科担当教諭に課題探究的な学習を取り入れた授業の充実について講義を行った。

4 勤続年数 14 年

5 職歴

- 平成 16 年 札幌市立真駒内曙小学校教諭
- 平成 22 年 札幌市立宮の森小学校教諭